

## 第2期 (2023年12月～2026年11月)

### 1 基本方針と目標

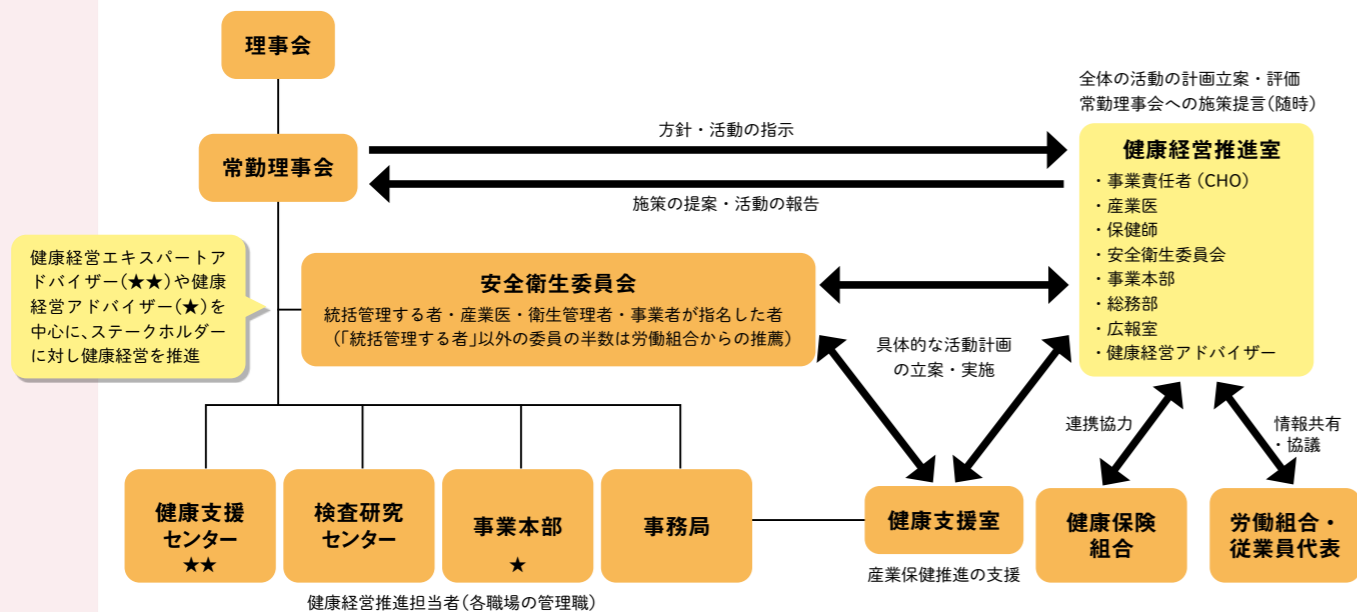
- 今後健康経営をさらに推進していくためには、一人ひとりのヘルスリテラシーの向上が不可欠と考えます。さらなるリテラシー向上をめざしていきます。
- 従業員一人ひとりがヘルスリテラシーを高めていけるよう、継続的な健康教育と健康行動を取りやすい環境づくりを進めていきます。
- 一人ひとりに対する健康教育とそれを支援する環境づくりのために、各職場健康経営推進担当者への教育および支援をより一層推進していきます。
- ヘルスリテラシーの高い従業員、生き活きと働く従業員、ワーク・エンゲイジメントの高い従業員を増やし、組織の活性化をより一層推進することを目標に取り組みを進めます。

### 2 取り組み体制と評価

本会では当初から医療保険者とコラボヘルス契約を締結し、連携を密に活動を推進しています。また、施策の推進、実施状況の把握、健康経営推進室への報告・相談などを行う「健康経営推進担当者」は各職場の課(科)長が担い、全部署一体となって取り組んでいます(図2)。

それぞれの取り組みの評価については、数値目標を設定し、毎年9～10月に実施後の評価改善計画レビューを行います。レビューに基づき、翌年の計画を立案していきます。

図2 健康経営推進体制



\*「健康経営®」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。



## 第6回

### 第2期健康経営推進計画がスタート!

本会は2019年10月に健康経営宣言を発信し、4つの重点施策——「メンタルヘルス対策」「生活習慣病対策」「喫煙者ゼロ」「女性の健康管理<sup>※1</sup>」(図1)を中心にさまざまな施策を実施しています。

健康経営推進計画で設定した第1期(2020年12月～2023年11月)が終わり、

第2期(2023年12月～2026年11月)がスタートしました。

そこで今回は、これまでの成果や課題、今後の取り組みなどについてご紹介します。

※1 女性の健康管理については、2020年に追加

## 第1期 (2020年12月～2023年11月)

### 1 第1期の成果

ほとんどの健康経営<sup>®</sup>の取り組みについて、9割前後の従業員が参加するようになりました。

従業員の意識変容・行動変容に関する指標においては、緩やかではあるものの、「運動習慣がある者」「睡眠で休養の取れている者」の割合が増加し、また喫煙者数の減少がみられました。

ヘルスリテラシー<sup>※2</sup>尺度調査については平均点が上昇傾向となっています。また、健康関連の最終的な目標指標においては、「肥満者」「脂質の有所見者」の割合が減少しました。

そのほか、「健康経営の認知度」も上昇しています。

※2 本会では、「各種データや健康情報から自分自身の健康状態を正しく理解し、主体的に健康維持のための行動を取れる従業員」を「ヘルスリテラシーの高い従業員」と考えています。

図1 4つの重点施策



### 2 課題

健康経営の取り組み参加率は年々上昇しています。参加率100%をめざし、今後も魅力ある取り組みが求められます。

従業員の意識変容・行動変容に関する指標のうち、食事の習慣で改善していない項目がみられました。また、飲酒や喫煙といった、嗜好品に関する習慣と、健康診断の有所見者割合のうち血圧、糖尿病、肝機能については、残念ながら目標値まで届きませんでした。プレゼンティーイズム状態(健康の問題を抱えつつ仕事をしている状態)にある者の割合についても、目標には届かず、引き続き対応が必要となっています。